



良住通信（いいじゅうつうしん）第2号

～ 熊野市の就職情報をお届けします ～

みなさんこんにちは。熊野市では昨年から高校を卒業された皆様に熊野市の就職情報や子育て情報をお届けする取組を始めています。

第2号通信は「第一次産業」をテーマに送らせていただきます。

熊野市で第一次産業に携わっている3つの企業の情報をお届けしますのでぜひご覧ください。

紹介する企業の情報に加え、働いている方のインタビューも掲載しております。熊野市でも働きがいを持てる企業があること、やりがいを持って働いている方がいらっしゃることを知っていただければ幸いです。

どの企業でも若い方がやりがいを持って、日々がんばっています！

紹介企業

- ① 「一般財団法人熊野市ふるさと振興公社」
- ② 「三重くまの森林組合」
- ③ 「有限会社熊野養魚」

○熊野市は専門の就職相談員を配置し、就職のサポートを行っています。

就職の相談など気になる事があれば、お気軽にお問合せください。

○今回紹介した企業の見学などの調整もさせていただきます。

○今後送ってほしい情報などリクエストがあれば、お気軽にご連絡ください。

事務担当：市長公室企画調整係

水産商工振興商工業振興係

TEL: 0597-89-4111 (内線317・474)

◆一般財団法人 熊野市ふるさと振興公社

事務所所在地：熊野市紀和町板屋 7 8

～熊野市自慢の特産品を一緒に作りませんか～



熊野市の特産品である三重ブランドの「熊野地鶏」や香酸柑橘「新姫」などの生産から加工・販売まで全ての業務を行っています。また、ホテル瀨流荘、湯元山荘湯ノ口温泉、鬼ヶ城センター、道の駅などの観光施設の運営や日本の棚田 100 選である「丸山千枚田」の保全活動も行っております。

職員インタビュー 亀井 大樹さん（28歳）熊野市在住 平成29年就職



Q1. どうして熊野市で就職したの？

A. 熊野という世界遺産や自然にあふれた町が好きだから。

小学校のころから父の影響で兄弟全員釣りが好きで、海でキス釣りなどをしています。シイラなどを狙って1m以上の大物を釣り上げたこともあります。

最近はブラックバスを釣りに行くことが多いですが、小さい頃はなかなか釣れずすぐに飽きてしまい川で泳いでいたことの方が多かったです（笑）。



Q2. この事業所で働いて良かった、やりがい、うれしかったことは？

A. 私が働かせていただいているのは畜産業になります。自分たちが手間暇をかけ、どうしたら良くなるのか常日頃から考え行動し、それが結果として現れ成功した時が一番やりがいを感じます。

Q3. 高校卒業生に一言！

A. 社会に出ると、高校生活、アルバイトなどでは経験しなかった事がたくさんあると思います。私が思う社会に出て大事だと思うことは、挨拶ができること、人の仕事をよく観察すること他人に気配りができることだと思います。

はじめは必死でついていくことがやっとだと思いますが、1つ1つ段階を踏み共に成長していけるよう頑張っていきましょう。



会社 HP はこちらから⇒



◆三重くまの森林組合

事務所所在地：久生屋町1368番地2

～若き担い手を育成、技術を継承し、地域の森林を守る～



当組合は熊野灘に面する三重県南部の熊野市・南牟婁郡（紀宝町・御浜町）を管内とし、35名の職員が働いており、若い職員も多く在籍しています。仕事内容は主に組合員や市町・県などの委託を受けての森林の整備（造林・保育・素材生産）を行っており、林業経営を目的とした森林整備以外にも災害を未然に防ぐための環境整備を目的として森林整備なども行っています。

職員インタビュー 片岡 龍介さん（27歳） 平成29年2月就職



Q1. どうして熊野市で就職したの？

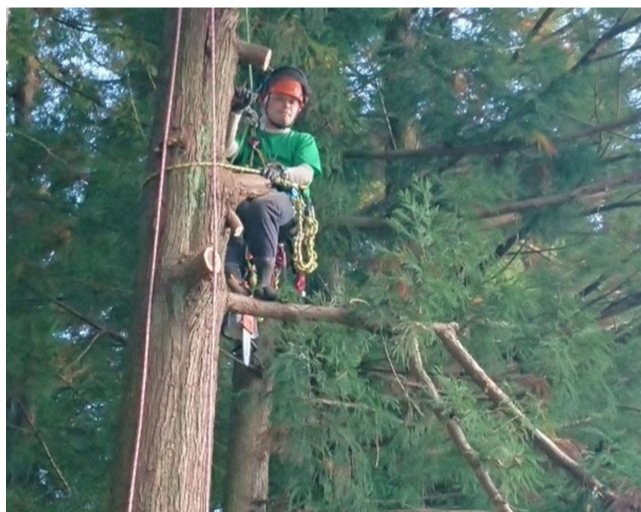
A. 私はこの海、山、川の豊かな自然がある熊野市が好きです。大阪の大学生活の四年間で思ったことは働くなら地元がいいということでした。地域の人々の温かさを感じられ、様々な行事ごとやお祭りがあり自分もその一員として一緒に盛り上げることが出来たらいいなと思い地元で就職しました。

Q2. この事業所で働いて良かった、やりがい、うれしかったことは？

A. 初めて自分で木を倒した時の迫力は今まで体験したことのないものでした。森林組合では様々な作業があり、きつい作業もあります。しかし周りの先輩方の支えがあるおかげで自分は働けていけているものだと思います。出来ないことも多いですが先輩方の指導があり少しずつ出来ることが増えていき、その作業を任せてもらえた時は頑張った良かったと思う事が多いです。

Q3. 高校卒業生に一言！

A. 今まで学んだ事、経験した事を生かせるような仕事に出会ってほしいと思います。それも初めはわからないと思いますが、そこで自分が成長していけるような環境を作ってほしいと思います。森林組合では危ないこともたくさんありますが、それ以上にほかの仕事では感じる事の出来ない迫力があります。職場の先輩方が指導してくれるので安全に作業を進めることが出来ます。また、仕事以外でもたくさんの事を教えてもらえます。和気あいあいとできる環境は外にはあまりないと思います。海も好きですが山も好きになれると思います。



会社 HP はこちらから⇒



◆有限会社 熊野養魚

事務所所在地：甫母町300番地

～マルハニチロがお届けする「よかとと」ブランド～

黒潮の影響を受ける熊野灘、名勝「楯ヶ崎」を望む二木島湾でくろまぐろの養殖を



熊野養魚はマルハニチログループの養殖場で、和歌山県串本町に在るグループ会社串本マリンファームの生産するくろまぐろと共に「紀州まぐろ」として全国に向けて販売をしております。

職員インタビュー 三上 竣也さん（18歳） 愛知県立三谷水産高校出身 令和3年4月就職



Q1. どうして熊野市で就職したの？

A. 昔から魚の飼育をすることが好きで、実習や部活動で海産魚の飼育を担当していました。住んでいた周辺では淡水養殖が多かったのですが、海産魚の養殖に挑戦したいと思い、養殖場を探していた所、東海地方で数少ないクロマグロの養殖を展開している熊野養魚の求人を知り、応募しました。

Q2. この事業所で働いて良かった、やりがい、うれしかったことは？

A. 入社してもうすぐ1年が経とうとしています。まだまだ覚える事はたくさんある状態ですが、自分でもできる仕事が増えてきました。海が荒れて大変な日もありますが、良い天気の日には透けるような海の中にまぐろが悠々と泳ぐ姿が見え、生簀いけすの周りにもたくさんの魚が見えるので自然の中で仕事をしている実感がすごいです。時々、自分の育てたまぐろを食べる機会もありますが、誰からも「すごく美味しい」と言われるのでとてもうれしく、やりがいにつながります。

Q3. 高校卒業生に一言！

A. 仕事を始めてみると、学校では教えてくれないことがたくさんあります。学校には先生が居て色々なこと教えてくれますが、社会人になると待っていても全てを教えてくれる様な先生は居ません。自分から「学んで、教えてもらって、成長しよう」という気持ちをしっかり持つことが大事だと思います。



会社 HP はこちらから⇒

